

八丈島 水産だより

11月号
2014



イソギク



11月3日、島内の小学校3校の運動会が一同に行われました。明け方まで雨が降る予報で順延が心配されましたが、皆の願いが通じ、無事に開催することができました。プログラムには小学生の競技や演技だけではなく、地域対抗や職場対抗リレー、6年生が、運動会をテーマに作った歌詞で歌うシヨメ節に合わせての踊りもあり、地域全体の運動会となっています。

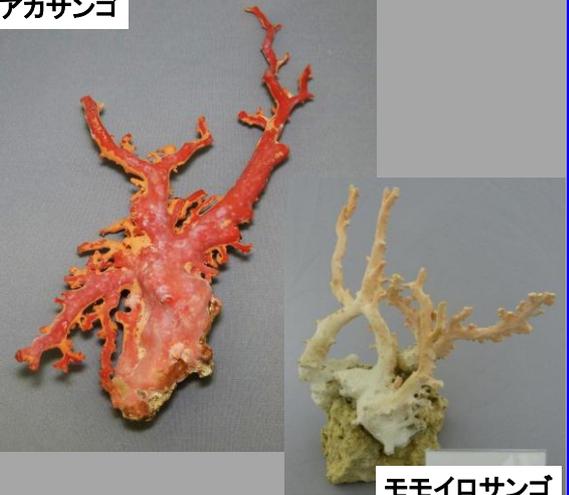
家族や親戚が集まる昼食時には、唐揚げや卵焼きなどのお弁当の定番メニューといっしょに、八丈島には欠かせない「島寿司」があちらこちらに並んでいました。

はちじょうしま

■ 八丈島のサンゴ

ニュースでも取り上げられていますが、中国の漁船がサンゴを獲りに八丈島の近くにも来ています。サンゴというと「サンゴ礁」をつくる浅い海に生息するものが思い浮かびますが、このサンゴは、「宝石サンゴ」とも呼ばれ、深い海に生息している仲間です。八丈島でも昭和37年までサンゴを水揚げしていた記録があります。大きな船がたくさん来ているので、地元漁師さんたちも困っています。

アカサンゴ



モモイロサンゴ

うきぎょしょう せっち

■ 浮魚礁を設置しました



新しい浮魚礁

魚などを集めたり、すみかを作るために、石やブロックなどを海に沈めたものを魚礁といいますが、木などの漂流物にカツオなどの回遊魚が集まる習性を利用して、海上や海中に大きな浮体（浮かぶもの）を設置して、魚を集めるのが浮魚礁です。

たくさんの魚が集まる近くて良い漁場ができるように、八丈島の周りには浮魚礁が6基あります。今回は古くなった浮魚礁の入れ替えを行いました。

写真で、オレンジ色の浮魚礁の後ろに見えるのは、右が八丈島、左が八丈小島です。